

港区病児・病後児保育利用連絡票

児童の氏名	平成 年 月 日生 (歳) 男・女
住所	在園名 保 育 園

太枠内は医師が記載して下さい

医師より裏面の説明を受けた上で、病児・病後児保育を申し込みます

該当する病名・症状に○印をお願いします			
(病名)		(症状)	(迅速診断)
01 急性上気道炎	09 咽頭結膜熱 (プール熱・アデノウイルス)	01 発熱	インフルエンザ (+/-/未)
02 気管支炎	10 溶連菌感染症	02 下痢	アデノウイルス (+/-/未)
03 急性胃腸炎	11 伝染性紅斑(りんご病)	03 嘔吐	溶連菌 (+/-/未)
04 手足口病	12 ヘルパンギーナ	04 咳嗽	RSウイルス (+/-/未)
05 おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	13 RSウイルス	05 喘鳴	ロタウイルス (+/-/未)
06 みずぼうそう (水痘)	14 ヒトメタニューモ	06 発疹	マイコプラズマ (+/-/未)
07 麻疹	15 その他	07 その他 ()	ヒトメタニューモ (+/-/未)
08 インフルエンザ	()		その他 ()
食事	普通食・下痢食 ミルク・離乳食(生後5, 6か月頃・7, 8か月頃・9か月から11か月頃・12か月から18か月頃)・幼児食 アレルギー食(除去内容)		
安静度	1. 病児・病後児保育室の集団保育が可能 2. 隔離室での保育が必要(他の病気の児との接触を避ける) ※病後児保育室には隔離室はありません。		
処方内容			
その他	食事、安静度、その他で配慮すべきことがありましたらご記入ください。		
利用期間	日間程度 ※記入した日を含む日数で最大7日間(土・日・祝日を含まず) ※必ずご記入ください。		
<p>この児童は診察の結果、上記の病中又は病気の回復期にあり</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;"> <p style="margin: 0;">病児保育室</p> <p style="margin: 0;">病後児保育室</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div> <p style="margin: 0;">の利用が可能と思われます。</p> </div> </div> <p>いずれかに○をつけてください。</p> <p>※病児・病後児保育の違いについては裏面に簡単な説明があります。 ※症状に変化等があった場合は、ご連絡しご指導をいただく場合があります。</p>			
医療機関	医療機関名 所在地 TEL 平成 年 月 日 医師名 _____ 印		

保護者名 _____

印 _____

(この用紙は必ず両面コピーしてお使い下さい)

港区における病児保育と病後児保育について

「病児保育」・「病後児保育」の違いについて港区では以下のように考えています。
病児・病後児保育室の選択時の参考にしてください。

病児保育とは	病後児保育とは
<p>医師が常駐している医療機関併設型の実施施設において未だ病気の「急性期」にある子どもも対象とすることができる保育看護事業</p> <p>病院併設型である</p> <p>急性期にあっても入院に至らないケース</p> <p>病気の回復期及び急性期で治療中であって集団保育が不可能な場合、担当医師の判断により医師在中のもと看護師・保育士で保育を行うことが可能</p>	<p>原則として病気の急性期を過ぎ、「回復期」及び症状が軽い子どもを対象とした保育看護事業</p> <p>医師が常駐していなくてもかかりつけ医師と連携し、保育所併設・派遣型などで実施できるもの。</p> <p>緊急的対応医療機関として協力を得ることが必要</p> <p>病状がある程度安定し、回復期にあるもの。 病状により、まだ、集団生活を送ることに支障があり、安静・観察を要するとかかりつけ医師が判断したもの。 且つ、医師不在であるが、看護師・保育士とで保育を行うことが可能</p> <p>状態が安定していて急変する可能性の低い児を、利用児同士がお互いに病気を感染させる可能性のない状況でお預かりする</p>

実例から考える、病児保育利用と病後児保育利用のケース

病児保育利用ケース	病後児保育利用ケース
<p>例1. 前日 38℃の発熱で途中降園、翌朝 37.8℃で登園。 昼までどうしても仕事の都合がつかず預かるが、食欲まったく無し・38.1℃・ぐずりありというケース。</p> <p>例2. 前夜・今朝ともに嘔吐があり、食欲がない状態。微熱があり、元気がない。 日中、パンと水分のみ摂取。13:00～17:00 眠って過ごしたケース。</p> <p>例3. 数日前より、下痢5～6回/日程度続き、熱はないが、食欲がなく1日不機嫌で過ごしたケース。</p>	<p>例1. 前日 38.0℃台の高熱があったが、朝は平熱になり機嫌もよい。もう1日、様子をみた方がよいと思われるケース。</p> <p>例2. 前日、喘息発作があり、吸入・点滴などの処置を受けて症状は落ち着いているが、もう一日安静にして様子をみた方がよいと思われるケース。</p> <p>例3. やけどや骨折の後、症状が安定しているが集団行動は不可能な状態の時。</p> <p>例4. 肺炎で1週間入院。退院後自宅安静。内服加療を主治医より指示されたケース。</p>

ご不明な点がございましたら、以下の病児・病後児保育施設にお問い合わせください。

- ※ あいいく病児保育室 港区南麻布5-6-8 TEL 03(5420)6419
- ※ ひまわり病児保育室 港区芝浦3-11-5 TEL 03(5442)8872
第三協栄ビル2F
- ※ 芝浦病児保育室 港区芝浦4-20-4 TEL 03(5730)0117
芝浦アイランドブルームホームズ1F
- ※ チャイルドケアばんびいに病児保育室
港区白金台3-16-8 TEL 03(5424)6003
クレール白金台2F(1F:スーパーいなげや)
- ※ 山王赤坂病児保育室 港区赤坂4-1-26 1階 TEL 03(6230)3761
- ※ 南青山病後児保育室 港区南青山1-3-5 TEL 03(3408)0466
青山一丁目スクエア内S棟1F